

ソニー銀行株式会社
専務取締役
渡邊 尚史
(Watanabe Takafumi)氏



ソニー銀行は、個人のお客さまのための「フェアな」金融サービスを追求するため、IT技術とインターネットを活用し、個人のお客さまの立場から、金融サービスのあり方を考えています。新技術を活用した新たな運用商品をお客さまにお届けするため、2022年よりデジタル証券に取り組んでいます。

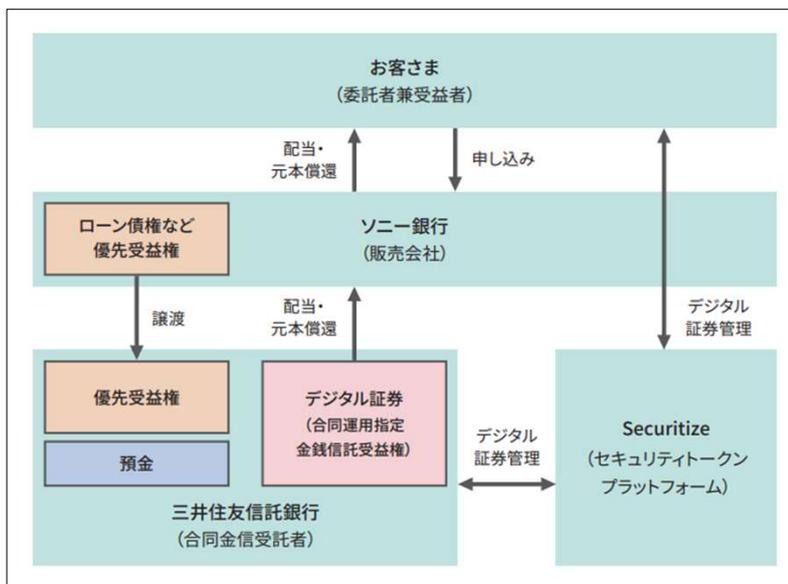
1. 未来の金融を創る ソニー銀行がデジタル証券に挑む理由

ソニー銀行は、新技術を活用し新たな領域に挑戦するDNAを持った銀行です。新技術である「ブロックチェーン」を活用し、お客さまに新たな運用商品を提供できないかと考え、2022年よりデジタル証券の取扱いに向けた検討を進めてきました。

2023年7月にリリースした第1号案件では、国内で初めてローン債権をアセットとするデジタル証券をソニー銀行の口座を保有するお客さまを対象に販売しました。償還年限1年で年0.3%という予定配当率の面でも評価いただき、1億円の募集額を大幅に上回る申込をいただくことができました。

非常に好評を得られた1号案件ですが、法令・規制といったリーガル面の検討、システム開発など、苦勞の連続でした。特にお客さまにとって利便性の高い申込フローになるよう、すべての手続をオンラインで円滑に完結できる、わかりやすい丁寧な説明を加えた画面遷移の構築といった点で検討を重ねました。

スキーム図

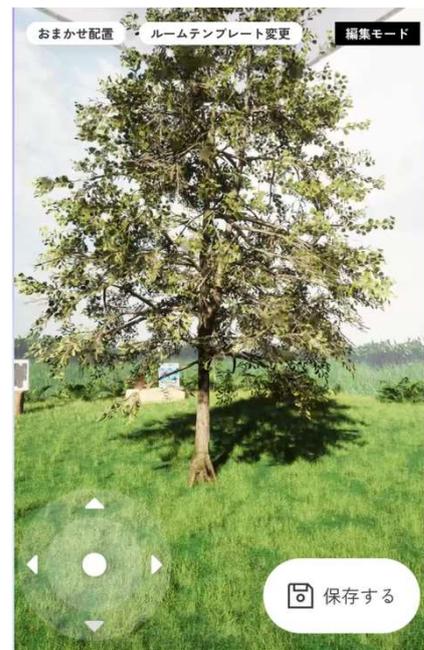


2. 第2号案件 1号案件の経験を活かし、さらに革新的な商品を組成

第1号案件を踏まえ、さらに異なる新しいものを生み出し世に広げるというミッションを掲げ実現したのが、2024年4月に取り扱いを開始した、米ドル建て貸付金(ソニー銀行は、調達した資金を、「気候変動・水・生物多様性対策など、環境に好影響を及ぼす事業活動」に資金使途を限定して発行されたグリーンボンドに投資)などをアセットとした第2号案件です。

米ドル建てのアセットのデジタル証券は、銀行のみならず、事業会社も含めて初のケースとして注目されました。当社は、7,000億円を超える大きな外貨預金をお客さまからお預かりしており、外貨での運用に関心を持つお客さまが多いので、この強みを活かした商品を組成できないかと考えたのです。さらに、これまでの金融商品にない新たな挑戦として、購入者に対してデジタルコンテンツをプレゼントするキャンペーンも実施しました。投資対象がグリーンボンドなので、環境への貢献度合を投資家の皆さまとシェアできるよう、苗木のデジタルコンテンツをお配りし、投資期間の経過に沿って苗木が成長していくという新しい体験が得られるコンテンツを提供しました。投資家に対して実施したアンケートでは、デジタルコンテンツへの関心の高さが確認でき、大きな手応えを感じています。

デジタルコンテンツ(イメージ)



商品概要

項目		第1号案件 : 償還済み	第2号案件 : 運用中
商品性	通貨	円建て	USD建て
	裏付け資産	ソニー銀行の投資用マンションローン債権	ソニー銀行を借入人とする外貨建て貸付
	裏付け資産格付	AAA (R&I)	- (貸付について「グリーン認証」取得)
	お申込みできるかた	・20歳以上、75歳未満の方 ・お客さまの資産運用の目的が以下 ：一定割合まで元本割れリスクを許容しつつ、資産運用を検討する ：元本割れリスクを許容して、資産運用を検討する	(同左)
	募集金額	1億円	100万ドル(≒約1.5億円)
	お申込単位	1口以上、1口単位、最大10口。1口は10万円。	1口以上、1口単位、最大20口。1口は1千ドル(≒約15万円)。 ：購入者のUSD口座から引き落とし
	募集期間	2023年7月20日(木)～8月14日(月)：26日間	2024年3月29日(金)～5月10日(金)
	資金引き落とし	2023年8月24日(木)	2024年5月23日(木)
	信託期間	2023年8月31日(木)～2024年8月30日(金)：1年間	2024年6月3日(月)～2026年6月3日(水) (2年間)
	配当	なし(償還時に償還金とあわせて入金)	1年ごと
予定配当率	年0.3%	年5.0%程度	
利回り以外の特典の設定等	- (実施せず)	①デジタルコンテンツ/②現金プレゼント	

3. web3 × 金融 × エンターテインメント ソニー銀行が目指すデジタル証券の未来

これまで当社が取り扱ったデジタル証券のアセットはローン債権などで、金融商品としてはある程度メジャーなものだと思いますので、今後は、新しいアセットに投資できるデジタル証券を取り扱っていきたいと考えています。ソニーグループはエンターテインメント分野で大きく成長をしています。このようなグループとしての強みも活かし、例えば、音楽・ゲームやアニメといったコンテンツから発生するキャッシュフローをバックアセットとしたデジタル証券の検討を進めており、現在、課題の洗い出しや設計を行っています。

こうしたチャレンジに向けた第一歩として、当社はweb3分野のアプリ「Sony Bank CONNECT™(ソニーバンク・コネクト)」を昨年リリースし、ソニー・ミュージックアーティスト所属である LiSA さんの昨年開催された全国アリーナツアー公演において、デジタルフィギュアをアプリ上で来場者に配布し、お客さまとの接点を広げるなどの取組を行いました。今後取り扱うデジタル証券は、こうしたコンテンツと連携し、お客さまに革新的な投資体験を提供していくという視点も踏まえて検討を進め、新たな投資の可能性を切り拓いていきたいと考えています。

※「Sony Bank CONNECT」はソニー銀行株式会社の商標です。

【企業概要】

ソニー銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号

本社 : 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

資本金 : 385億円

第1号案件 : 投資用マンションローン債権セキュリティトークン

第2号案件 : 米ドル建てグリーンファイナンスセキュリティトークン

加盟協会 : 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

URL : <https://sonybank.jp>

